

伊達アカ2025 一般ステージ審査 全体講評

伊達アカ2025公式アドバイザーのまーびろです。

一般ステージへの多数のご応募、誠にありがとうございました！

昨年度は伊達アカ当日の夜ステージとビギナーズバトルの審査に携わらせていただきましたが、より踏み込んだ形で何か出来ることはないかと思い、今年度は全てのエントリー動画を拝見し、全体講評としてコメントを残させていただくこととなりました！

一個人の意見にはなりますが、今後の活動の参考になりましたら幸いです。

=====

■ 客観的に見る能力

他の人が演奏を見てどう思うか（自分たちの強みでどれくらいの時間視聴者を離さずにおけるか）をより考えられてたら良かったな…と思うグループが多い印象でした。

YouTubeの業界では「視聴維持率」という数値でも表される部分で、僕も制作する際にはここを重要視しています。

イメージしてみてください！

「見ず知らずの人の演奏を 4,5分 飽きずに聴くってそもそも大変じゃないですか…？」

令和のJ-POPやショートコンテンツの席卷が象徴するように、
どんどん視聴者をそのコンテンツに滞在させる難易度は上がってます。

話を戻しますが、もし初見で 4,5分 の演奏を聴けたとしたら、

歌唱力やスキル、アレンジ技術や構成の妙味、エンタメ性やショーマンシップ等

様々な長けている部分を、上手に魅せることが出来ている素敵なグループだと思います！

やりたいこと と 持ち合わせてるスキル のバランスの見極めはとても難しいですが、
いま一度、グループの演奏や強みを見つめ直す機会になったら嬉しいです。

とにかく好きなことをやるんだー！って方は全く気にしなくて大丈夫です。

好きを突き通した先にしか見えないものもあると思うので！

ただ、審査を通過して色んな人に演奏を聴いてもらいたいと思う方は気にしてみると良いのでは！

■ アレンジに関して

全体的に『アレンジが同じ』ように感じてしまいました。

読解が足りないのか、そもそもアレンジャーのスキルの問題なのか、は判断が難しいですが、

- ・原曲の良さを失っていたり… (原曲の美味しいところがテンプレアレンジによって消えてしまう)
- ・メンバー理解が足りなかったり… (無理が生じアンサンブルに支障をきたしてしまう)
- ・ボーカルの情報量<バックギングの情報量になってたり…

もっと「意図」を感じれる、グループ毎の”強み”を活かしたアレンジが増えたら素敵ですね！

あとは『楽譜(アレンジ)がゴールになってる』のかなと感じました。

もちろん譜面の中にたくさん情報が詰まってると思いますが、アレンジに対してどういうアプローチを施すかが大事だと考えています。
(ハイパーアレンジャーが譜面の中で完璧に支配してるなら話は別ですが！笑)

「サンプルのmidi音源では良い感じだったけど、声にしたらなんか違うな… (これは逆も然り)」
「こういう感情の持って行き方をしたいんだけど、このラインだと難しいな…」等

色んな意見が出て然るべきだし、譜面を指標くらいに思ってもっと自由にトライしてみては！

他にも、情報量が多くてどこを見れば良いのかが分からなかったり、オーバーワークさせがちな譜面だったり、色々現場でやるには不向きな譜面も多かったですね…。「表現の余白」大事。。

極論ですが、この期間もっと白玉の綺麗な3和音を聴きたくなりました…笑

アレンジって本当に難しいし奥が深すぎる、、一緒に頑張りましょう、、

■ パーカスに関して

短めに3点ほど。

- ・単音の説得力を上げたいです！
いかにテクニカルな打ち方であっても素材の基礎音がしっかりしてないと良さが半減…
- ・アタックをもっと意識して！
音の立ち上がりが遅く、リズムの芯が見えづらくなってしまいます…

・アンビエンス系の音をもっと丁寧に！

リバースシンバル等、空間演出として使う音があると思いますが、ここに意識を持ってるかはとても大事だなと感じました。もっと繊細に取り扱ってあげましょう。

■ ボーカルが出てこない

ボーカルがしっかり聴こえて来ない！歌詞が聴こえない！

っていう事象がとっても多かったです。

ビャービャー色々言ってきましたが、結局のところボーカルが大事なんですよ。

多くのグループで散見されたのですが、

スキヤット/シラブル(コーラスの歌詞のようなもの)

ってそんなハッキリ言わないといけないですかね…？

他にもアレンジの積みや構成等でバックキングの主張が強いグループが多かったので、もう少しボーカルの表現幅に寄り添うことを意識出来たら良いですね！

あと審査用動画を録る時は事前に音量のバランスチェックしましょう。

ボーカル埋もれすぎてて勿体無いと感じるところ多かったです！

■ 映像と音源別録りの時のリップシンクの粗さ(おまけ)

今回は映像審査なので、こういう部分も目に入るよってことで…

僕が普段から作品を作る際に細かいとこまで見る癖がついてしまってるので、初見でもかなりミスを見つけられました！(人によっては減点対象になるんじゃないかな…?) お気をつけて！！

=====

長くなってしまいましたが、ここまで読んでくださりありがとうございます！

ここに記したことは一例に過ぎませんし、「正解」なんぞはどこにもございません。

限られた枠を争う中で順位付けをしなくてはならない、という時にこの視点を持つと有利に働くのでは？という程度です。正直、あなた(たち)が好きならOK!、と思ってる自分もいます。

好きな楽曲を好きなメンバーと好きな表現方法で。

それが達成できたら1番の幸せですよ。

今回、惜しくも落選してしまったグループも、また来年チャレンジしてくれたら嬉しいです。

今年も素敵な祭典になりそうで既にワクワクしてます。

秋の仙台でお会いできることを心から楽しみにしています！

伊達アカ2025公式アドバイザー
まーびろ